

器官・臓器の解剖Ⅱ（筋・骨格と末梢神経）

(Anatomy of Musculo-Skeletal Organ System and Peripheral Nervous system)

【責任者/担当者】

〔解剖学 神経科学部門〕 山中 博樹 講師

【担当者】

〔解剖学 神経科学部門〕 小林 希実子 講師、大久保 正道 助教

【目的】

基礎医学・臨床医学の基礎となる人体全身の構造の中で、筋骨格系及び末梢神経系の構造を局所的ならびに系統的に、臨床的な事項と関連付けながら理解する。

【科目キーワード】

「筋骨格系 (Musculoskeletal system)」 「末梢神経系 (Peripheral nervous system)」 「骨学実習 (Osteology practice)」

【到達目標(アウトカム)】

- ☐ 骨・軟骨・関節・靱帯の構造と機能を説明できる。
- ☐ 頭部・顔面の骨の構成を説明できる。
- ☐ 四肢の骨・関節を列挙し、主な骨の配置を図示できる。
- ☐ 脊柱及び骨盤の構成を説明できる。
- ☐ 四肢・体幹・頭頸部の筋群の構成を説明できる。
- ☐ 各筋群の運動機能と神経支配を説明できる。
- ☐ 骨の成長と骨形成・吸収の機序を説明できる。
- ☐ 末梢神経の構成を概説できる。
- ☐ 脊髄神経と神経叢（頸/腕神経叢、腰仙骨神経叢）の構成および主な骨格筋支配と皮膚分布を概説できる。
- ☐ 脳神経の名称、核の局在、走行・機能を概説できる。
- ☐ 交感神経系と副交感神経系の構造、機能と伝達物質を概説できる。

【ディプロマ・ポリシーと授業科目の関連】

- ・豊かな人間性と生命の尊厳についての深い認識を有し、人の命と健康を守り、社会の福祉に奉仕する医師としての職責を自覚し、地域ならびに母校への帰属意識を有している。
- ・医学・医療の進歩と改善に資するために研究を遂行する意欲と生涯にわたり自己研鑽を続ける態度を有し、同僚・後輩への教育に労を惜しまない。
- ・人体の構造、機能および異常や疾病とそれらの原因、病態、診断、治療に関する基本的な知識ならびに様々な疾病に対する適切な治療法を身につけている。

【概要ならびに履修方法】

講義と骨学実習とで構成される。骨学実習は教育研究棟 5 階 503 実習室で行う。

なお、骨学実習終了後には、中間試験として骨学の部分に対する筆記試験を行う。この中間試験に対する再試験は無い。骨学実習に関しては、無断遅刻、欠席を認めない。

【準備学修ならびにそれに要する時間】

骨学実習までに配布する実習マニュアルならびに教科書の該当する部分を確認すること。(約 1 時間)。講義に関しては前日までに該当する部分の講義冊子に 1 時間程度目を通すこと。

【成績の評価方法・基準】

骨学中間試験 30%、定期試験 70%

実習は皆勤が条件であり授業中の質問、態度、授業出席状況なども加味する。態度が不良の場合は単位を認めない。

【学生への助言】

試験前には十分な勉強時間を確保すること。定期試験後の人体解剖実習に向けて重要な科目であり、しかも例年消化不良のまま試験を受ける学生が多いので注意すること。

【フィードバック方針】

学生毎の個別に答案を開示する。

【オフィスアワー】

教員の实習が無い曜日の 5 コマ目 15 時 30 分より 17 時

【受講のルール、注意事項、その他】

骨学実習において実習室に入室する場合は、ふさわしい服装、身なりをすること。また、実習室内での服装で、食堂、売店、病院内に立ち入らないこと。

実習室は飲食厳禁。飲み物、食べ物を持ち込んだりもしないこと。ガムをかみながら実習を行わないこと。飲食を見つけた際には実習室から退出させ、欠席扱いとする。

講義ならびに実習には必ず教科書等を持参すること。実習時に 2 冊の教科書と実習の手引き書を持参していない場合は実習室から退出させ、欠席扱いとする。

実習室内へのカメラ、携帯電話、タブレットの持ち込みは禁止する。SNS 等へ講義・実習に関する内容を公開することも禁止する。

注意事項が守られない場合、もしくは、実習態度が不良と判断した場合は、履修を認めない。

講義においても、遅刻・欠席が無いように生活習慣を整えること。また、講義中の不必要な教室の出入りは極力無いように注意すること。欠席と判断することもある。

【教科書】

「解剖学講義(改訂3版)」伊藤隆 原著(南山堂)2012 年

「プロメテウス解剖学コアアトラス(第3版)」坂井建雄 監訳(医学書院)2019 年

【参考書】

「イラスト解剖学(第9版)」松村譲児 著(中外医学社)2017 年

「日本人体解剖学(改訂20版)」(上)金子丑之助 原著(南山堂)2020 年

「骨学実習の手びき(第4版)」寺田春水、藤田恒夫 著(南山堂)1992 年

「解剖学カラーアトラス(第8版)」J. W. Rohen、他 共著(医学書院)2016 年

「骨単」河合良訓 監修(エヌ・ティー・エス)2004 年

「カラー図解人体の正常構造と機能(改訂第4版)」坂井建雄、河原克雅 総編集
(日本医事新報社)2021 年

「グレイ解剖学(原著第4版)」秋田恵一 訳(エルゼビア・ジャパン)2019 年

「ネッター解剖学アトラス(原書第7版)」Frank H. Netter 著 相磯貞和、今西 宣晶 訳
(エルゼビア・ジャパン)2022 年

「グレイ解剖学アトラス(原著第3版)」塩田浩平、他 監訳(エルゼビア・ジャパン)2021 年

【連絡先】

教育研究棟 9 階 解剖学 神経科学部門 セミナー室